

1 直線 $y = x \tan \theta$ に関する対称移動を表す行列 T_θ を求めよ。

平面上の任意の点を $P(x, y)$, P を対称移動した点を $P'(X, Y)$ とおく. $y = x \tan \theta$ の傾きは $\tan \theta$. 直線 PP' の傾きは $\frac{Y-y}{X-x}$ であるから,

$$\tan \theta \cdot \frac{Y-y}{X-x} = -1.$$

$$\therefore X - x + \tan \theta(Y - y) = 0. \quad (1)$$

直線 PP' の中点の座標は

$$\left(\frac{X+x}{2}, \frac{Y+y}{2} \right)$$

で, この点は $y = x \tan \theta$ 上にある.

$$\therefore \frac{Y+y}{2} = \tan \theta \cdot \frac{X+x}{2}.$$

$$\therefore Y + y = \tan \theta \cdot (X + x). \quad (2)$$

(1),(2) より,

$$\begin{cases} X + Y \tan \theta = x + y \tan \theta \\ X \tan \theta - Y = -x \tan \theta + y \end{cases}$$

である. この連立方程式を X, Y について解くと,

$$X = \frac{1 - \tan^2 \theta}{1 + \tan^2 \theta} \cdot x + \frac{2 \tan \theta}{1 + \tan^2 \theta} \cdot y,$$

$$Y = \frac{2 \tan \theta}{1 + \tan^2 \theta} \cdot x - \frac{1 - \tan^2 \theta}{1 + \tan^2 \theta} \cdot y.$$

従って,

$$\begin{pmatrix} X \\ Y \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} \frac{1 - \tan^2 \theta}{1 + \tan^2 \theta} & \frac{2 \tan \theta}{1 + \tan^2 \theta} \\ \frac{2 \tan \theta}{1 + \tan^2 \theta} & \frac{\tan^2 \theta - 1}{1 + \tan^2 \theta} \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix}$$

であるから,

$$T_\theta = \begin{pmatrix} \frac{1 - \tan^2 \theta}{1 + \tan^2 \theta} & \frac{2 \tan \theta}{1 + \tan^2 \theta} \\ \frac{2 \tan \theta}{1 + \tan^2 \theta} & \frac{\tan^2 \theta - 1}{1 + \tan^2 \theta} \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} \cos(2\theta) & \sin(2\theta) \\ \sin(2\theta) & -\cos(2\theta) \end{pmatrix}.$$

2 次は, 異なる 4 つの要素 $\{a, b, c, d\}$ からなる群の乗積表の一部である. どれが単位元か考え, 表の残りの部分を完成させる上で必要な推論を述べよ.

	a	b	c	d
a	b			c
b		b		
c			a	
d	c			

$b^2 = b$ より、両辺に b^{-1} をかけると、 $b = 1$.

$ca = a$ または $ca = c$ と仮定すると、それぞれ $c = 1, a = 1$ となり、 $b = 1$ に矛盾する . $ca = b$ と仮定すると $c = a^{-1}$ となり、 $a^2 = b$ に矛盾する . 従って $ca = d$. 同様に $ac = d$.

$cd = c$ または $cd = d$ と仮定すると、それぞれ $d = 1, c = 1$ となり、 $b = 1$ に矛盾する . $cd = a$ と仮定すると $c^2 = a$ より $c = d$ となり、矛盾 . 従って $cd = b$. 同様に $dc = b$.

$d^2 = d$ と仮定すると $d = 1$ となり、 $b = 1$ に矛盾 . $d^2 = c$ と仮定すると、 $ad = c$ より $a = d$ となり、矛盾 . $d^2 = b$ と仮定すると、 $cd = b$ より $c = d$ となり、矛盾 . 従って $d^2 = a$. 表は次のようになる :

	a	b	c	d
a	b	a	d	c
b	a	b	c	d
c	d	c	a	b
d	c	d	b	a